

8

## カリグラフィーで イニシャルスイーツボックス

BOX 図案デザイン：阿部美由紀  
制作者：カリグラフィー部門委員会



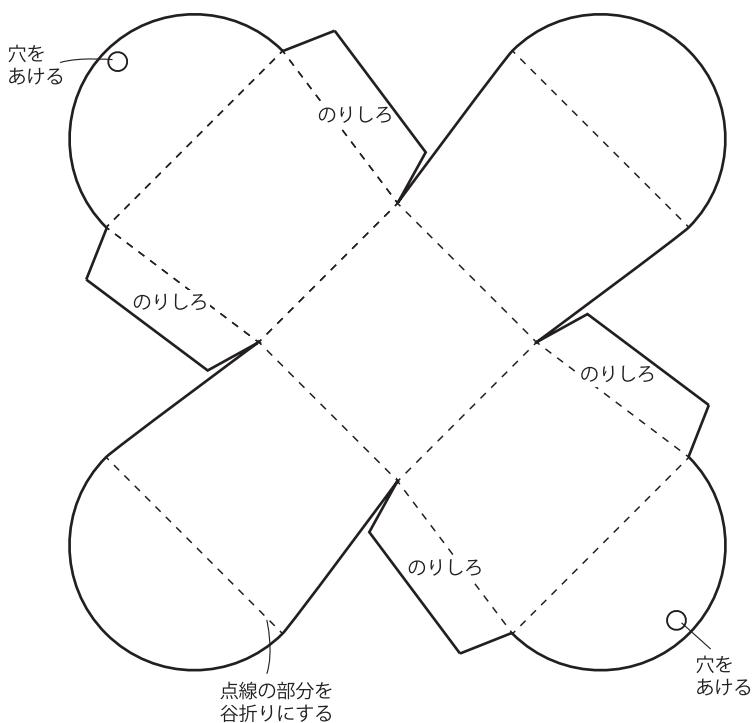
### 【用意するもの】

カリグラフィーマーカー（ペン先が平たく、3.5mm程度の幅の広いもの）、白画用紙、色画用紙または厚紙（B4サイズ）、のり、はさみ（波型、ギザギザ型など）、穴あけパンチ、クラフトパンチ（各種）、スタンプ、リボン（幅5mm×30cm）

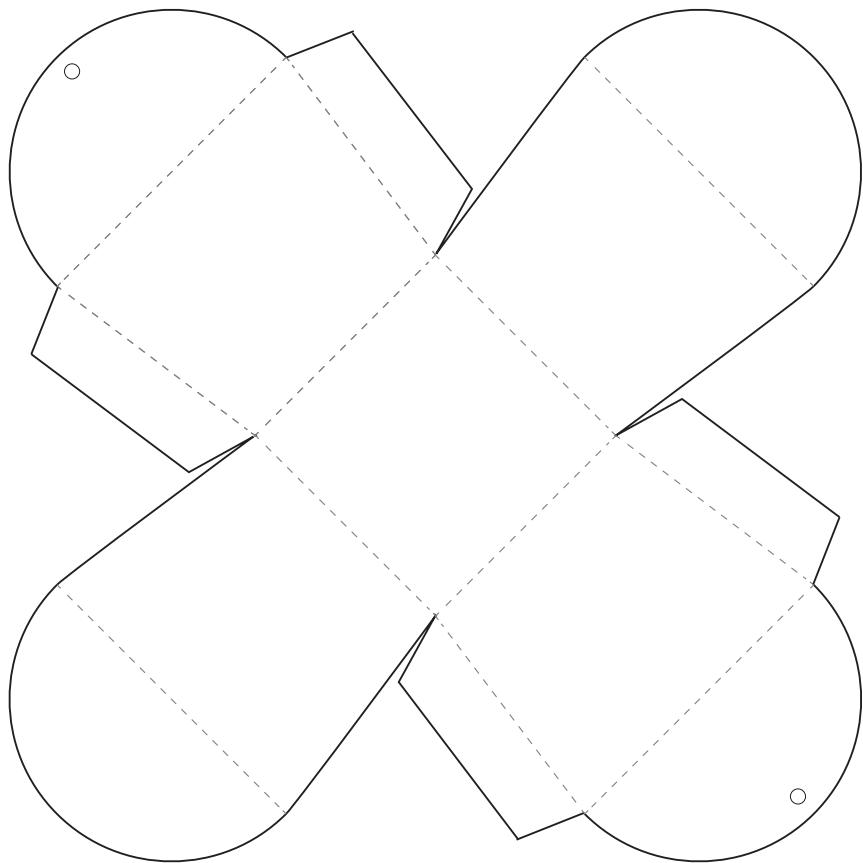
### 【つくり方】

- ①型紙を200%に拡大して、色画用紙にコピーする。のりしろを含め、ボックスの形に切りとる。
- ②見本の書体を参考に、ボックスの面に合わせた大きさで白画用紙にイニシャルをカリグラフィーマーカーで書き、はさみで丸く切りとる。
- ③切りとったイニシャルをボックスの好きな面に貼る。
- ④その他の面は、マーカーやクラフトパンチ、スタンプなどを使って自由にデザインする。
- ⑤ふたとなる部分の2か所（向かい合った）にパンチで穴を開ける。リボンを通しても画用紙が切れない程度の位置に開ける。
- ⑥のりしろ部分にのりを付け、ボックスの形にする。
- ⑦パンチで開いた2か所の穴にリボンを通して結ぶ。

### 組立図



型紙 200%に拡大して使用



## イタリック体の基礎～カリグラフィーマーカーを使って～

## ●カリグラフィーマーカーについて

ペン先が平たく、2mm、3.5mmなど、いろいろな幅のものがある。マーカーの種類には顔料系と染料系がある。マーカーは速乾性もあるためカード制作などには適している。

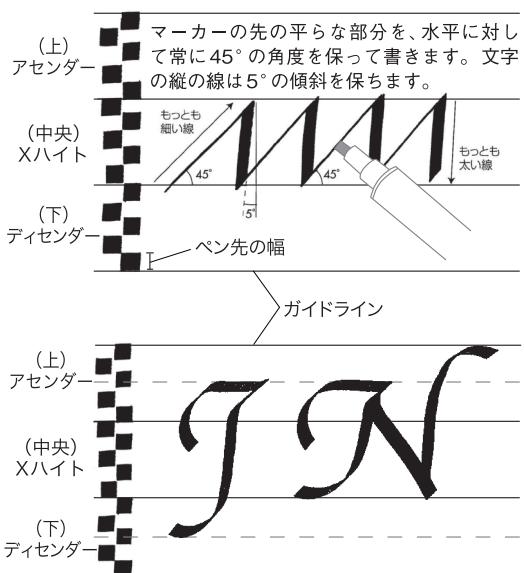
## ※ガイドラインとマーカーの先の角度

バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン（右図の実線）という。

イタリック体には、使うペン先の幅の5つ分を単位とした4本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ（中央）を「Xハイト」、その上を「アセンダー」、下を「ディセンダー」と呼ぶ。

## ※大文字の書き方

大文字を書く場合、右図のようにアセンダーとディセンダーの、それぞれの高さの中間にガイドライン（右図の点線）を引き、文字の高さの目安にする。



8 カリグラフィーで  
イニシャルスイーツボックス

## イタリック体の書体見本

文字：森 美也子

